

これからの行事（12月の行事）

- 1日 旧西山小学校校庭草刈り 8:00
- 4日 助八古道道路点検（最終）
- 5日 主事連絡会（zoom）
- 〃 20歳を祝う会実行委員会
- 7日 助八古道を歩こうかい前日準備
- 8日 助八古道を歩こうかい
- 9日 ⑰事務局会議
- 20日 48地区コミュニティ協議会会長会議
- 21日 コミュニティ忘年会
- 23日 ⑱事務局会議
- 28日 門松づくり

西山地区

コミュニティ協議会だより

【(西風) 令和6年度12月号】

発行：西山地区コミュニティ協議会

会長 中村史傳

令和6年12月12日発行

薩摩川内市下甕町瀬々野浦 1194

TEL 09969-5-0122

FAX 09969-5-0355

関西西山郷友会郷友会懇親会開催。



見出しの懇親会が阪神電車出屋敷駅の近くの会館で開催されコミ会長と主事が参加しました。約40人の人たちが集まったようです。

この時期は体育祭が開催されていたのですが、学校を借り切ることが困難なってきたようです。コロナも明け去年から懇親会が行われていきます。

今年瀬々野浦の夏祭りと区民運動会に役員の方やまわりの方々が参加されましたので、お返しというわけでもないですが、関西の空気を吸って懇親会に参加して帰ってきました。

故郷と同じように第1世代人口が減っている中で、よく集まっていると感心します。

この会は大正6年に設立されたそうです。依頼誇張とのつながりを切らず、またほかの集落の親睦会が消えていく中で根強く継続しています。

これからも交流を持ちながら末永くお付き合いをお願いします。

郷土芸能「シアノーノー」

コミュニティ協議会で舞われる

去る11月10日、大帯姫神社の秋季大祭が行われ、雨の中神事のみが境内で行われ、奉納踊りはコミュニティ協議会の2階で舞われました。指導者は藤井清美さんで、踊り手は藤井薫さん、藤井快地さん、中村佳奈子さん、中村加依秀さんの4人でした。躍動感のあふれるこの踊りは境内で見ると、室内で見たほうが至近距離も少なく、一段と迫力があるように思いました。関係者の皆さんありがとうございました。



今年の芋（カイモ）は不作でした。

コッパン餅を楽しみにしてこられた方々には申し訳ありませんでした。芋が不作で餅は捣きましたがとても商品として売るにははばかられる状態でした。一年間かわってこられた皆様お詫び申し上げます。



令和6年度電宮文化フェスタが下飯手打小学校で行われました。島内の特産品や新鮮な魚などが販売されました。

郷土芸能部門では藤井清美さんの踊りと「シアノーノー」が舞われました。踊り手は藤井薫さん、中村佳奈子さん、中村加依秀さんの3人でした。他の集落からもそれぞれの伝統ある郷土芸能が披露されました。



上は物品販売の画像で、西山コミからは恒例の餅売りがありました。

今年はコッパン餅の販売が無く常連の皆様は残念がっておられました。地区コミとしては来年を指して挽回を図るのみです。

下飯高齢者クラブペタンク大会

11月12日、青瀬かのこ幼稚園体育館で開催されました。下飯各地域から20数チームが参加し、西山地区からは3チームが出場。

この大会で大会最高齢者である中村桂子さん(96)才を含むナポレオンチーム(中村桂子、山下和代、藤井清美)の各選手が優勝しました。

桂子さんは昨年の中飯で開かれた飯島地区ペタンク大会でも最高齢者として表彰され、最高齢参加記録を更新中です。

他の2チームはナポレオンAチーム(中村美代香、宮野武矩、中村麗子)、瀬々野浦チーム(宮野藏郎、中村史傳、内川内の大熊定男)がそれぞれのパートで勝ち進み3位決定戦で同地区決戦となりました。僅差で瀬々野浦チームが勝ちました。

ペタンクで用意するのは最低限で3つ

- ・鉄球(プール)
 - ・ビュット(中心になるプラスチックの小さな玉)
 - ・メジャー
- 最低限これだけあれば開始できます。参加できる人数は1チーム1名から3名です。
- コートのは幅4m長さ15mあれば十分で、国際大会の大きさです。
- プールをビュットに近い場所投げて、ビュット近い球の数で勝敗が決まります。

シリーズ21 故郷を深く浅く探る「中村史傳アポのトンコスからカイヤマチ見れば

「瀬々野浦の小さな地名考②」
11月号からの連載です。

カイヤマチは建物的には麓から出張ったダンナ衆の宿舎、時には巡回する地頭の休憩所・宿泊所や大勢の人を集めたりするので大きな構えの建物があつて、その一画を「カイヤマチ」と呼んだのだろう。明治十八年生まれ祖父は旧校長住宅(現橋本鍼灸院)筋の道を「カイヤンウエ」と言っていた。これで、「カイヤマチ」がどこかお分かりだろうか。

そう西浄寺がカイヤマチの跡地で、この周辺地帯が「カイヤマチ」である。明治十三年にできた瀬々野浦小学校はカイヤマチの建物を利用して誕生し、明治二十五年に西山尋常小学校と改称した。就学率の高まりによってこのキャンパスもてげまになって(里道)の段々畑に石垣を築いて現校地に移転したのは明治も終わりに近い頃だった。

これで開田と的場の間の斜面地サトミチの地名がガッコウチ(学校地)という人工台地の地名に変化したのだろう。個人的でもよいから小さな地名を教えてください。

